

SecureGatewayのご紹介

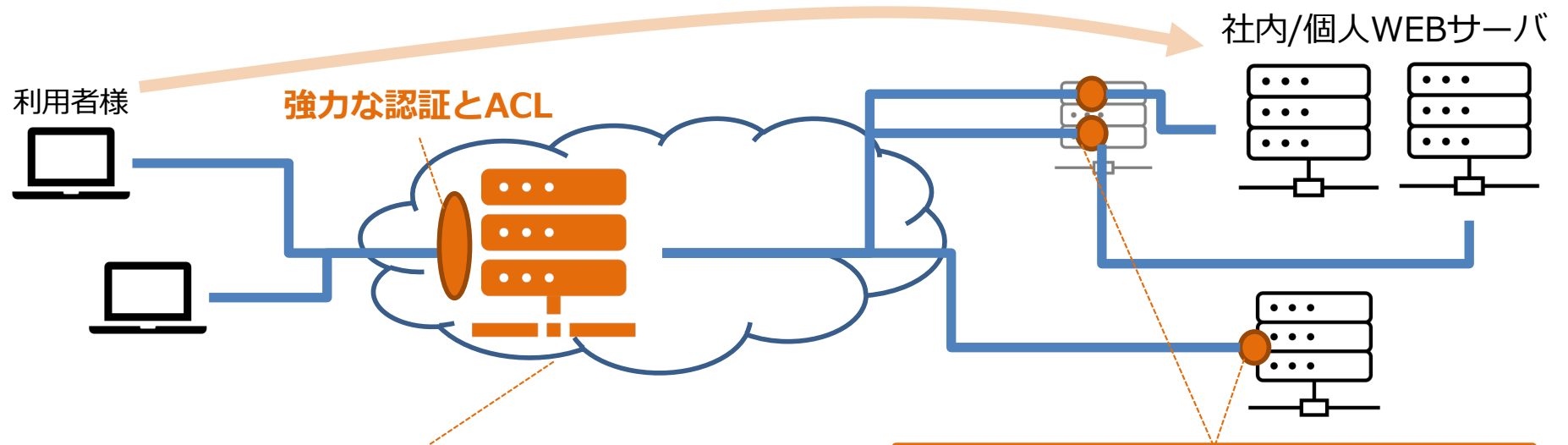
どんなWEBサーバにも、どこからでもアクセスできる
新時代のゲートウェイSaaS

2021 これからデビュー

こんなことを実現します

公開されていないWEBサーバへどこからでも
セキュアにアクセスすることができます

TCP/IP接続も可能なため、外部からクラサーバも使えます。要発IP規制設定



Gateway (proxy)

ドメイン公開しWEBサーバへの通信をリバースします。
※多要素認証機能を有しています。
※アクセスコントロール（発IP制限など）を有しています。
※DNS管理など一式が全て提供されます

コネクタ

利用者とWEBサーバとの通信を仲介します。
※ FWでのポート開放は不要です。
※ ソフトウェアとして提供されます。

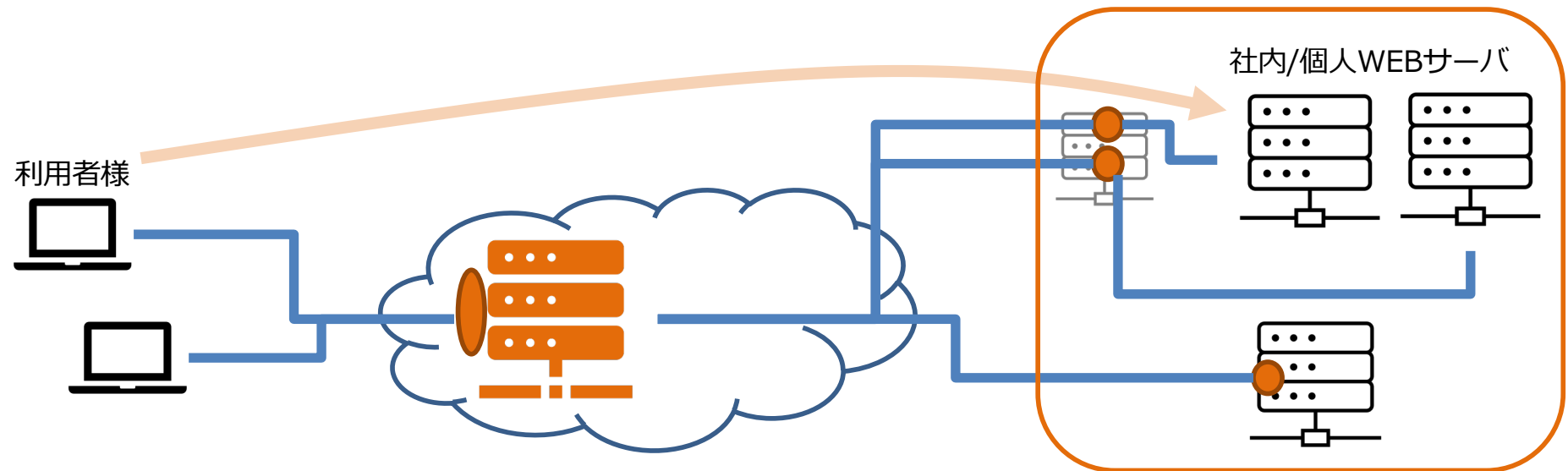
実現1：脱VPN/ゼロトラス

社内で利用しているWEBサーバへVPNなしにアクセスできます

VPNはネットワークで認証し、接続してしまえば、どんなアプリケーションでも使えてしまいます。



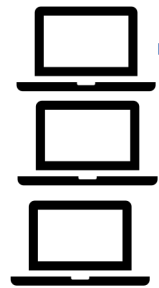
このシステムは、アプリケーション毎の制限が可能であり、操作履歴も保存することができます。
これが **脱VPN / ゼロトラス** です。



実現2：新たな業務フロー

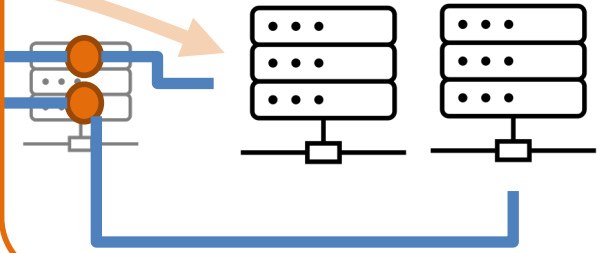
他社の管理業務さえリモートから実現可能に

管理業社

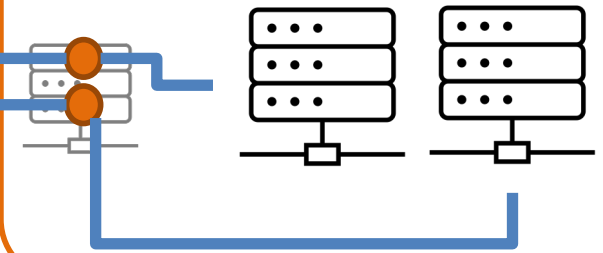


「強力な認証とACL」あればこそ

#A社 管理/管理WEBサーバ



#B社 管理/管理WEBサーバ

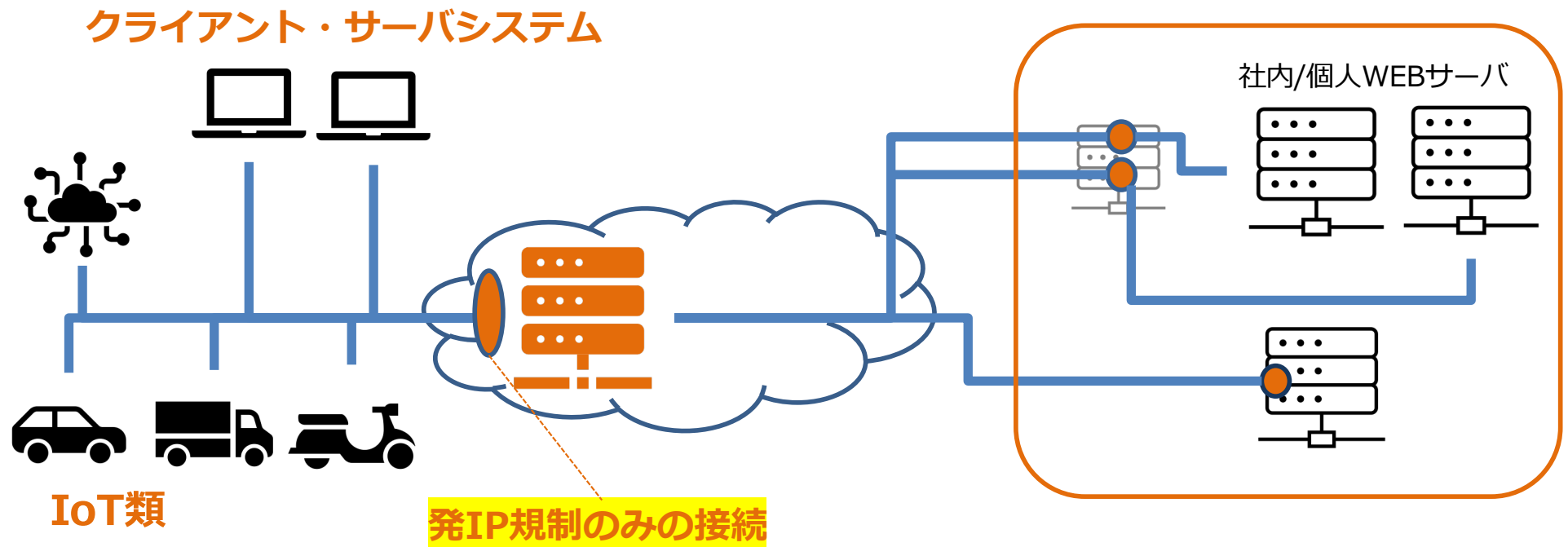


これまでリモートではできなかった業務が可能になります！

- ネットワークや施設設備機器へリモートからアクセスできます。
- 企業内環境に、オープンソースである“apache guacamole”を導入することで、ssh やリモートデスクトップアクセスできます。

外部からは操作できなかったことを実現することで、**新たな業務フロー** を可能にします。

実現3 : 認証なしTCP/IP接続



クラサバ・システムやIoTなどの接続をセキュアに実現

本システムはWEB接続では、多要素認証、クライアント証明書認証機能を具備していますが、クラサバ、IoTなどは高度な認証接続ができません。
そのため認証なしの発IPアドレス規制によるTCP/IP接続を実現します。

具体的なサービス

1. 社内、個人のプライベートなWEBサーバに外部からアクセスすることができます。

- 企業内のWEBサーバに家、どこからでもアクセスできます。
- 自宅のWEBサーバにだってアクセスできます。
- クラウド上でドメイン取らずにローカルで立てたWEBサーバにでも、このシステムを介してアクセスすることができるようになります。
- 80/443ポートの開放も不要。SSL証明書の取得も不要。
- ファイアウォールでのポート開放は不要です

2. 高度な認証機能(多要素認証)による万全なセキュリティ！

- ログイン・パスワード + TOTP*1等の認証機能があります。
- クライアント証明書で入力なしの認証も可能です。
- 認証機構にはOpenAMを利用し、自由なカスタマイズが可能

*1) Google Authenticatorなどを利用したワンタイムパスワード認証です。

具体的なサービス

4. WEBサーバ毎にSAML認証します。

- WEBサーバ毎にIdPを設定することができます。
※ACL実現のために、本システムにもユーザ登録が必要です
- 認証/ユーザ管理はOpenAMを利用しており、IdPとしても利用可能です。

5. アクセスコントロール機能があります。

- 発IP制限/アクセス可能WEB選択/利用時刻/曜日制限。

6. アクセスログ機能があります

7. こんな利用方法もあります。

- リモートアクセスを実現する “apache guacamole” をローカル・ネットに配備すれば、外部からリモート・デスクトップやSSHアクセスができます。